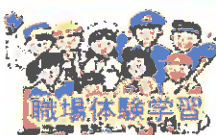




mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



チャレンジ・ワーク GO GO!!



チャレンジ・ワーク14の事前指導に、出張の校長先生に代わり激励のあいさつに行ってきました。

激励というには少々厳しい内容だったような気もしますが(苦笑)、まあ社会人体験ですからそのくらいの方がいいでしょう(言い訳)。

要するに、「この人と一緒に仕事がしたいな」と、事業所の人に思ってもらえる3日間にしましょう!ということです。「人に認められる」…これが最も大切なことだと思います。さあそのためにあなたは何かができますか?



1年生は絵手紙教室



28日の3・4校時に、恒例の絵手紙の授業が1年生でありました。伊里公民館の絵手紙教室の方々が総勢9名で指導に来てくださいました。モチーフに各種の人物や秋の味覚・花なども多く用意してくださっており、何を描こうか迷ってしまいます。

かく言う私も、きっちりエプロンを身につけ待機、今や遅しと待ち構えていたのでした(笑)。

さあ制作開始、説明をしっかりと聞き、生徒たちも頑張っています。「おおっ、これは!」と思わず絶賛した作品もありました。

絵の具を用意し、水を用意し、描いた後は後片づけと、どうしても「絵を描く」という行為は敬遠されがちですが、でもそのちょっとした一手間の向こう側には、何ものにも替えがたい満足感や達成感、そして想像と創造の喜びが待っています(ちょっと大げさ?)。

これらの作品群は、来たる伊里地区文化祭において展示されます。ぜひ生徒たちの感性あふれる力作をご覧ください。





チャレンジ・ワーク14アラカルト



ていねいにお菓子の箱を包装中

チャレンジ・ワーク14始まりました。生徒たちにとってはとても貴重な3日間になることでしょう。初日は疲れ果てることと思いますが、その疲れはとても大切な疲れです。一生忘れられない心地よい疲れの思い出となるといいですね。

私も、何度も何度もチャレンジ・ワークを経験していますので(先生としてですけどね)、それはそれは様々な思い出があります。嬉しかったこと、残念だったこと、とんでもないこと、とても口に出して言えないこと(苦笑)等々…。さて、今年はどうなる出来事が待ちかまえていることでしょう。



バサバサと思いぎり良く剪定してました



院内保育園で、絵本を読み聞かせ

「助っ人」として、何箇所か巡回の行きましました。福○堂、吉○病院、夕○ム…。みんなそれぞれの場所で、良い顔をして働いていました。

「楽しいです」という感想が多かったでしょうか。事業所の方にお聞きしても、どこでも大変褒めていただきました。さすがは伊里中学校生徒、というところでしょうか。

すばらしい3日間になることを期待しています。頑張れプチ社会人!



給食運んで来ました～～



いっぱいあって賞品を並べるもの大変です

気配り

とっても気持ち良くなりました

朝からとっても気持ちが良くなったお話を一つご紹介。



その日、急な連絡ができて朝の会が終わる寸前3年の教室へ。連絡を済ませ、再び急いで職員室へ戻っていた階段での出来事でした。

前を、提出物のノートをいっぱいかかえた1年生女子3人が階段を降りて行っています。すると…急いでいる私の足跡と気配に気づいたのでしょうか、先頭を歩いていた女子が、自然に、本当に自然にさりげなく後を振り返ることもなく右側にスーッと身を寄せました。

「こ、これは…?」と一瞬に思い、「ひょっとして道を開けてくれた?」と尋ねると、返って来たのは、照れくさそうな微笑みだけでした。その笑みが全てを語っていたようです。

いやあ、とっても気持ちの良くなったある日の朝の出来事でした。さりげない気遣いってステキですね。

